

株式
会社 **エー・アンド・ティ**
(証券コード：7745 東証1部)



2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

2020年11月30日



Bluetooth®内蔵
上腕式ホースレス血圧計
UA-1200BLE

はじめに



2020年8月6日に開示いたしました2021年3月期業績予想につきまして、2020年11月6日付「2021年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」により修正させていただきました。従って本資料につきましても、修正予想に基づき説明させていただきます。

なお中期経営計画（2021年3月期～2023年3月期/ローリング方式）につきましては、中期的な見通しが未だ困難であることから引き続き公表を見合させていただきます。慎重に検討を進め、中期的な見通しがある程度可能になった段階で公表させていただく予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響



新型コロナウイルス感染症拡大による生産面・販売面の状況

生産面：中国・ベトナム・韓国・国内の各生産拠点ほぼ平常時レベルに回復

- 各国間の人の移動には依然制限が掛るも、サプライチェーンはほぼ正常に機能

販売面：米州・欧州の一部では活動規制継続も各国政策に応じた活動で対応

- 未だ対面商談不可の地域もあるが、イベント・展示会のOnline化及びバーチャルラボの開設等Webの活用で対応

健康と安全を最優先に予防策を実施しつつ企業活動に努めています

- 引続きテレワーク・時差通勤・Web会議等の対策を継続
- 商談はもとより設置のリモート対応等Webを積極的に活用
特にWebinarは効果大

- 1. 2021年3月期業績修正予想**
- 2. 2021年3月期第2四半期業績の総括**
- 3. 2021年3月期重点課題**

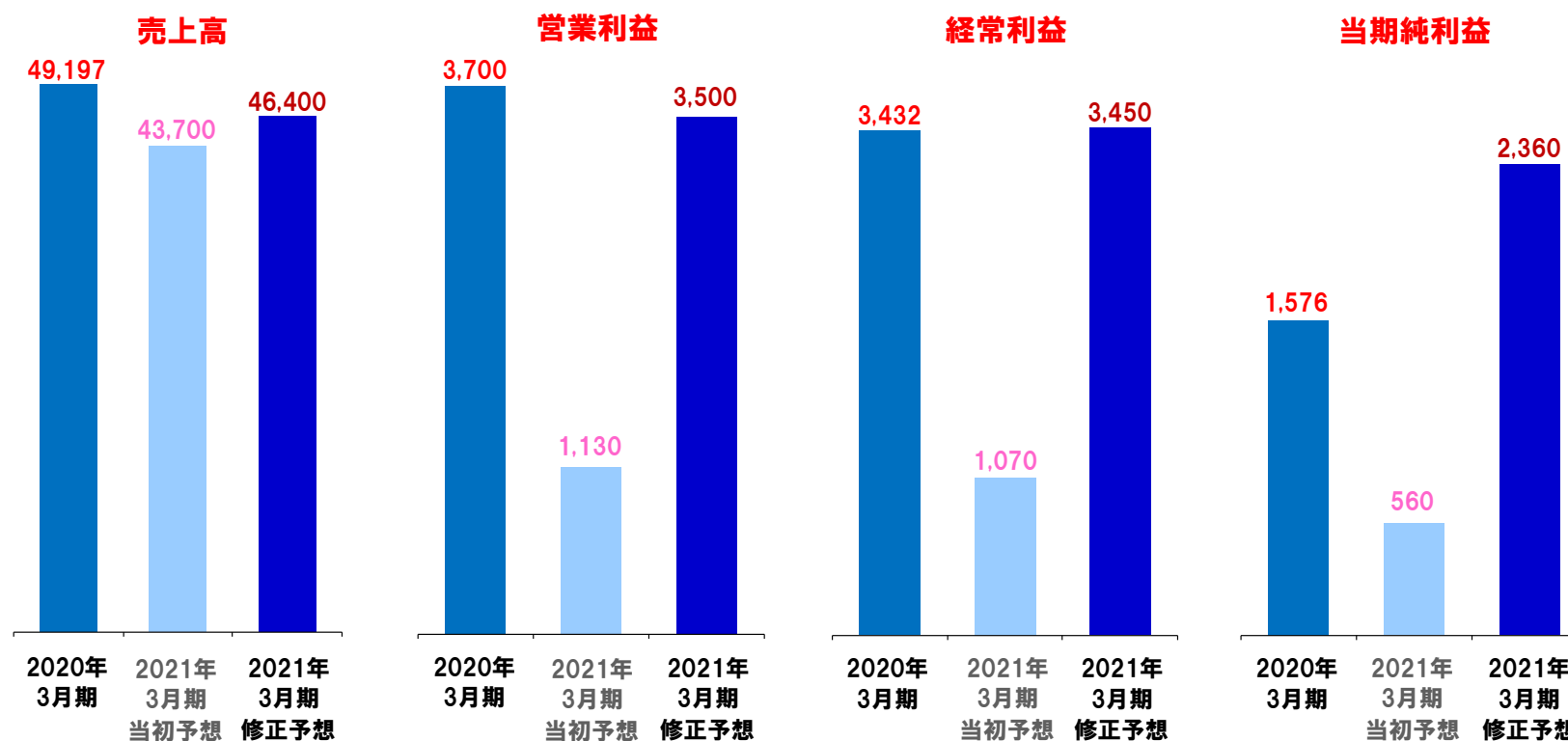
1. 2021年3月期業績修正予想

2021年3月期業績修正予想



- 健康機器の需要増を背景に売上高は対前年度未達も当初予想を上回るものと予想
- コスト削減・販管費圧縮により各段階利益は当初予想比大幅増と予想

(単位：百万円)



2021年3月期業績修正予想②



(単位：百万円)

連 結 損 益	前回発表予想	今回発表予想	増減率	(参 考)	
				前期実績	前期実績比
売 上 高	43,700	46,400	6.2%	49,197	94.3%
売 上 原 価	25,170	25,900	2.9%	27,411	94.5%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	17,400	17,000	△2.3%	18,085	94.0%
営 業 利 益	1,130	3,500	209.7%	3,700	94.6%
経 常 利 益	1,070	3,450	222.4%	3,432	100.5%
税 引 き 前 利 益	1,070	3,450	222.4%	3,423	100.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	560	2,360	321.4%	1,576	149.7%
1株あたり当期 純利益(円)	27.15	114.41	321.4%	76.88	148.8%

想定為替レート：1ドル=105円 1ルーブル=1.4円

2. 2021年3月期第2四半期業績の総括

2021年3月期第2四半期業績ハイライト



コロナ禍において売上高は対前年ほぼ横ばいも営業利益は大幅増

売上高：前年同期比 96.5%

営業利益：前年同期比 157.5%

■要因

- 計測・計量機器事業：設備投資の延期・凍結等の影響から売上減少
- 医療・健康機器事業：健康意識の高まりから家庭向け機器が好調維持
- コスト改善施策と販管費削減活動により売上原価・販管費とも減少率は売上高の減少率を上回る

2021年3月期第2四半期業績の概況



売上高はほぼ横ばいも各段階利益は大幅増

(単位：百万円)

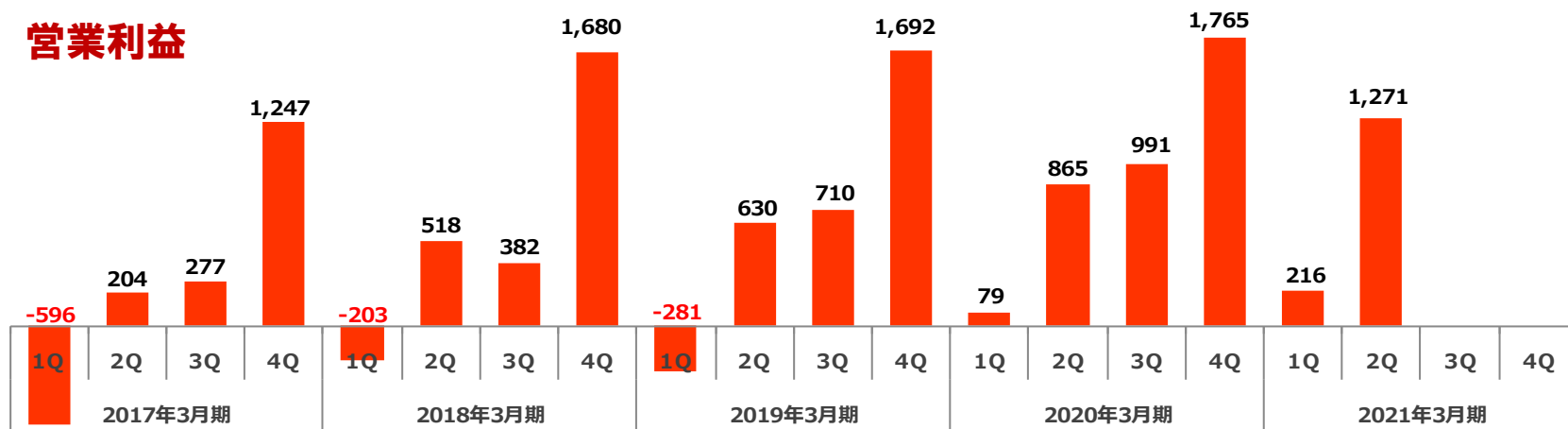
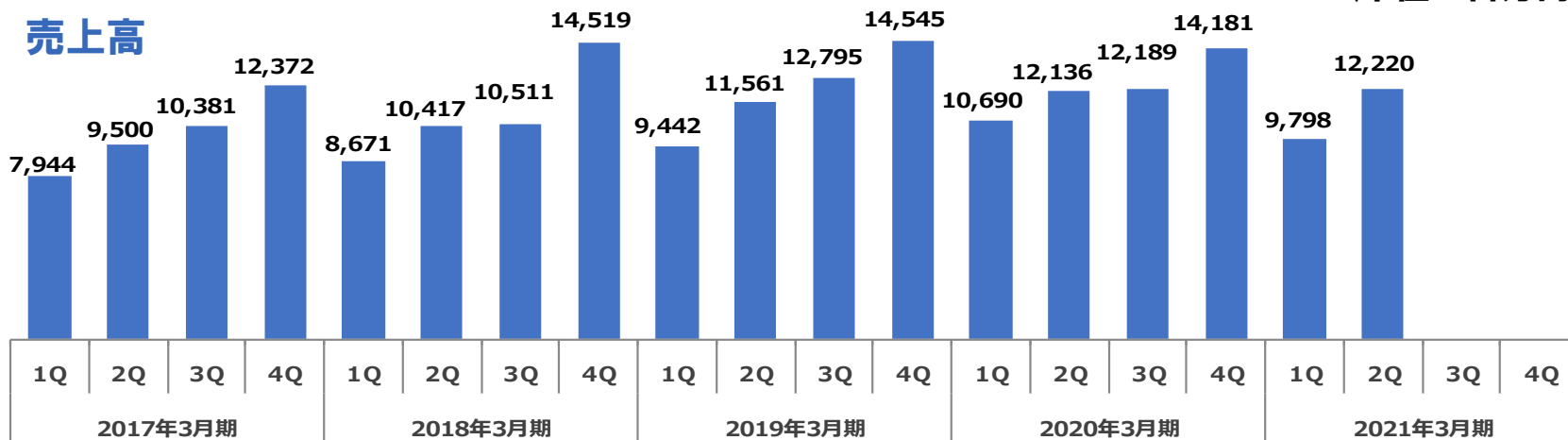
連 結 損 益	2020/3期 2Q累計(実績)	2021/3期 2Q累計(実績)	前年同期比	2021/3期 修正後予想	達成率 (修正後予想比)
売 上 高	22,826	22,019	96.5%	46,400	47.5%
売 上 原 価	12,788	12,221	95.6%	25,900	47.2%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	9,093	8,310	91.4%	17,000	48.9%
営 業 利 益	944	1,487	157.5%	3,500	42.5%
経 常 利 益	771	1,511	196.1%	3,450	43.8%
税 引 き 前 利 益	756	1,510	199.7%	3,450	43.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	182	1,146	626.6%	2,360	48.6%
1株あたり四半期 純利益(円)	8.93	55.57	622.3%	114.41	48.6%

四半期別売上高および営業利益の推移



2Q単独では増収増益、売上高も対前年微増

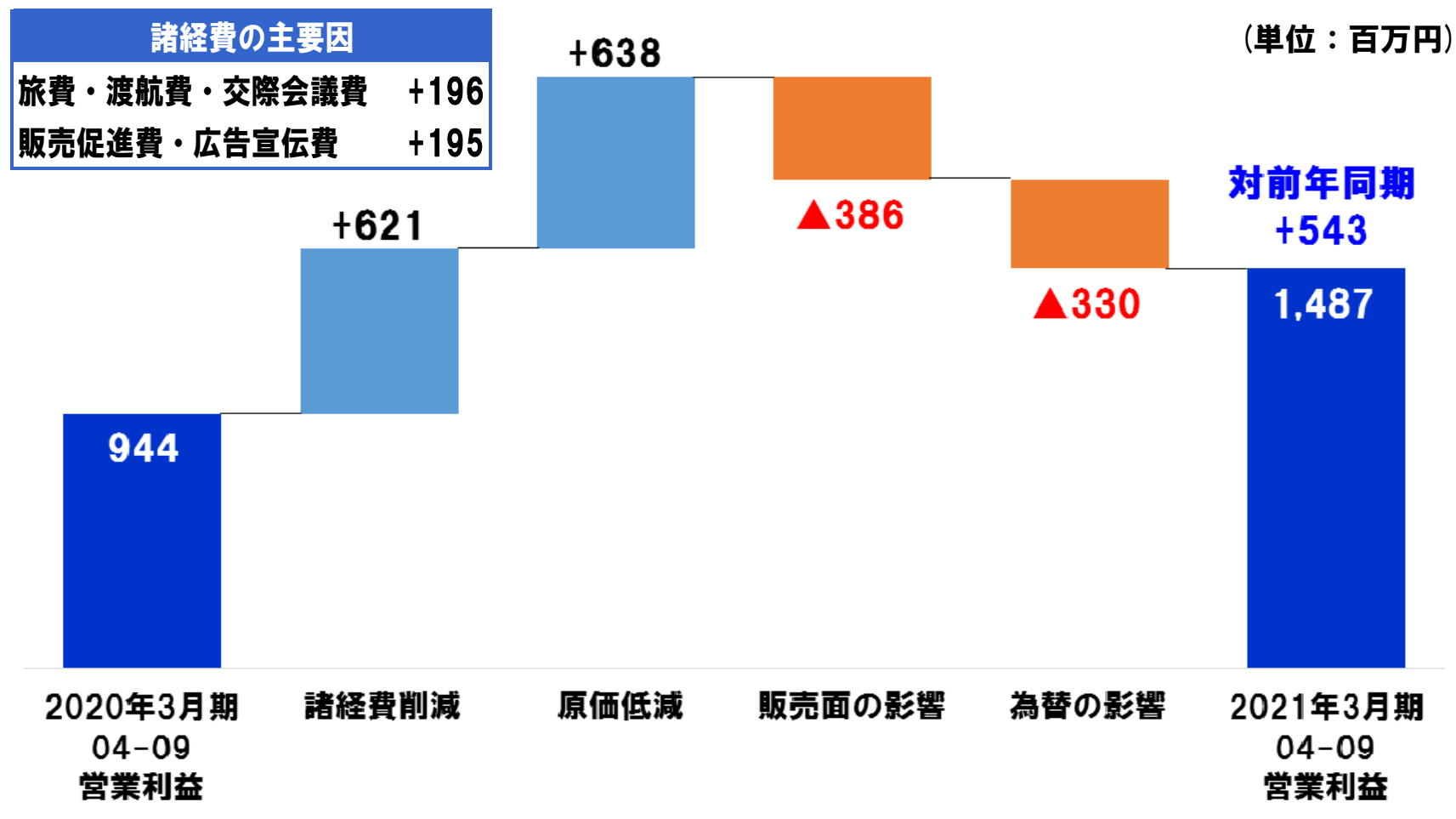
(単位：百万円)



営業利益増減要因（前年同期比）



売上高は減少するも販管費の減少により営業利益は増加

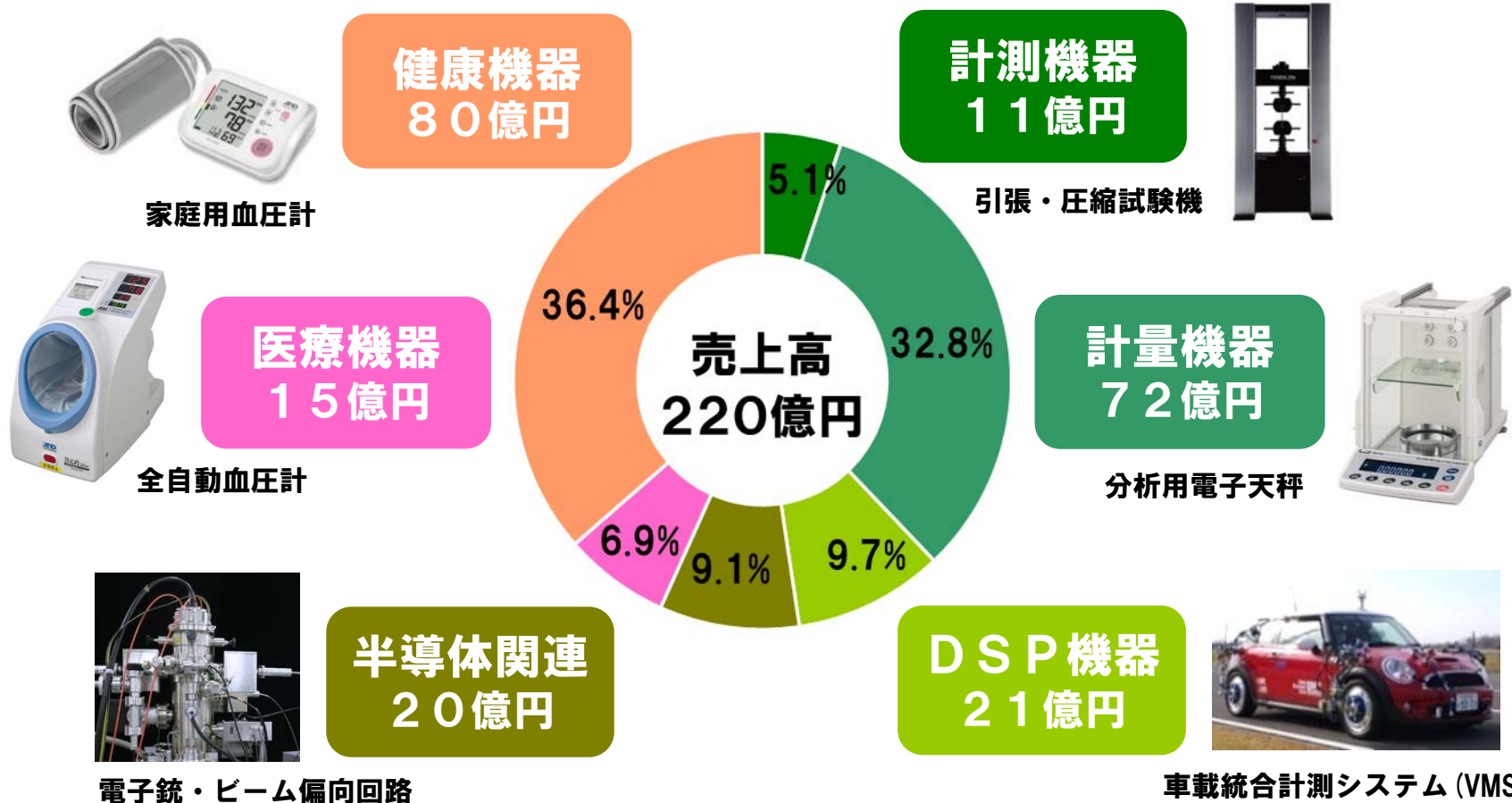


2021年3月期第2四半期事業別売上実績



医療・健康機器事業

計測・計量機器事業



※DSP：計測・制御・シミュレーションシステム

セグメント別業績の概要



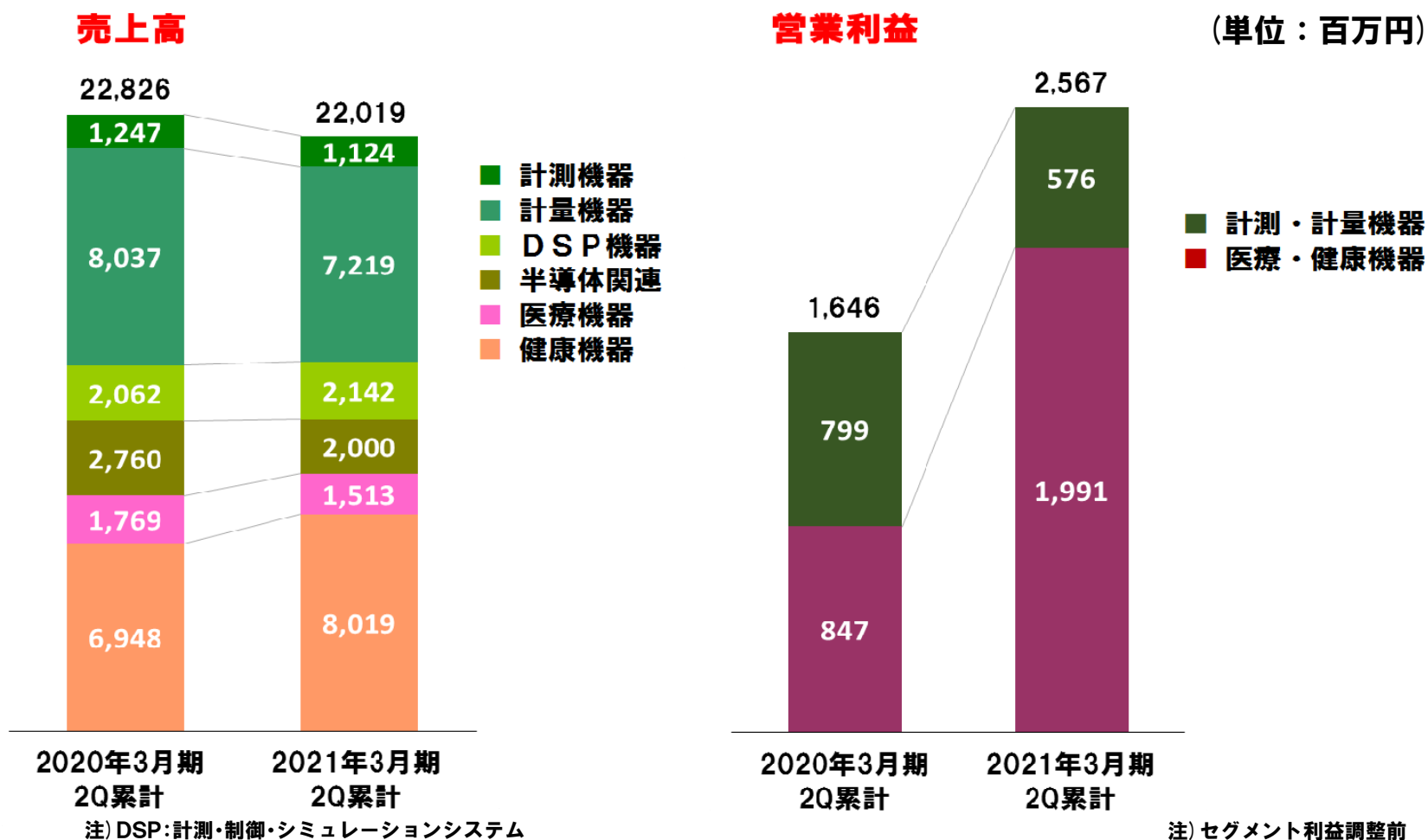
(単位：百万円)

連 結 損 益	2020/3期 2Q累計(実績)	2021/3期 2Q累計(実績)	前年同期比	2021/3期 修正予想	達成率 (対修正予想)
売 上 高	22,826	22,019	96.5%	46,400	47.5%
計測・計量機器	14,107	12,486	88.5%	26,570	47.0%
医療・健康機器	8,718	9,533	109.3%	19,830	48.1%
売 上 原 価	12,788	12,221	95.6%	25,900	47.2%
計測・計量機器	8,034	7,008	87.2%	15,450	45.4%
医療・健康機器	4,765	4,887	102.6%	10,130	48.2%
販 管 費	9,093	8,310	91.4%	17,000	48.9%
計測・計量機器	5,274	4,900	92.9%	9,820	49.9%
医療・健康機器	3,106	2,654	85.4%	5,610	47.3%
営 業 利 益	944	1,487	157.5%	3,500	42.5%
計測・計量機器	799	576	72.1%	1,300	44.3%
医療・健康機器	847	1,991	235.1%	4,090	48.7%
全 社 / 消 去	△702	△1,080	----	△1,890	----

事業別実績



医療・健康機器事業が営業利益増を牽引、売上高も対前年を上回る



事業別動向



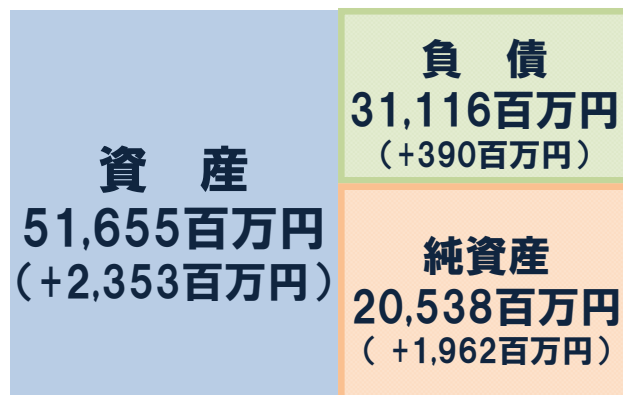
計測・計量機器	計測機器	コロナ禍需要減の影響から対前年同期未達も2Qに入り需要が回復基調
	計量機器	9月単月は両事業合計で対前年微増
	DSP機器	前期末受注残が延期・キャンセル等無く順調に売上計上され対前年同期+3.8%で着地するも受注は自動車関連の設備投資抑制のなか苦戦を強いられる
	半導体関連	対前年割れもほぼ計画どおり 半導体メーカーは好調も設備投資は前年度で一巡か
医療・健康機器	医療機器	医療機関等のコロナ対応の影響から対前年・計画共未達も徐々にではあるが未達幅は縮小傾向
	健康機器	日本・米州・欧州で健康機器が好調維持 日本では非接触型体温計販売再開、即完売となり増産 米州と欧州では通信機能付き機器の需要増とeコマースルー トの伸長継続

財務分析（貸借対照表）



財務状況

2020/9末 ※()内は2020年3月期末比

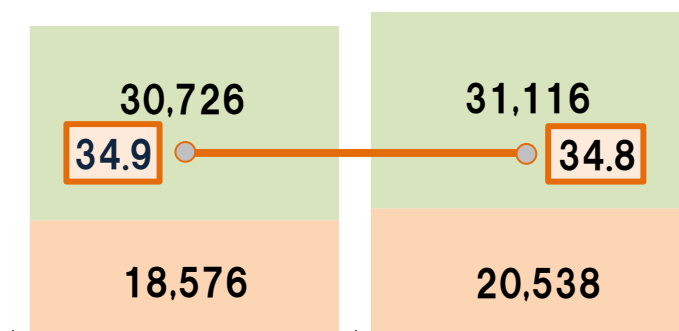


(単位：百万円)	2020/3末	2020/9末
流動資産	36,269	37,958
固定資産	13,033	13,696
資産合計	49,302	51,655
流動負債	23,869	23,991
固定負債	6,857	7,124
負債合計	30,726	31,116
純資産合計	18,576	20,538

負債・純資産・自己資本比率

(単位：百万円)

— 純資産 — 負債 — 自己資本比率 (%)



2020年3月期末

2020年9月期末

現金及び預金	+3,420百万円
受取手形及び売掛金	△1,985百万円
土地	+580百万円

支払手形及び買掛金	△523百万円
短期借入金	+868百万円

株主資本	+908百万円
非支配株主持分	+1,189百万円

2. 2021年3月期重点課題

アフターコロナに向けて



社会的価値観と産業構造の変化を好機と捉え経営体質を強化



最大効率を引出す仕組み創りのための業務の見直し

DXの推進による効率改善と収益力強化

事業環境の変化を掴み更なる成長へ挑戦

アフターコロナに向けて



**コロナ後、社会は変化が加速 ⇒ ビジネスのチャンスは増加
主要事業で想定される変化と創出されるビジネスチャンス**

- **メディカル事業**
健康意識の高まりから家庭向け健康機器の需要増
ICT・クラウドと連携する健康サービス市場も加速
遠隔医療・リモート診療の認可が新市場を創出
→ICT対応の血圧計・体重計・体温計・SpO2計
体組成計販売のグローバル化
- **半導体関連事業**
リモートワーク・Web会議等は通信環境の高度化を要求
5G普及とAI・IoT対応に伴う大容量メモリと半導体微細化要求
→半導体検査装置のマスク測長機
- **自動車関連ツール (DSP) 事業**
ゼロエミッション社会へ向けEV化は加速
→モーターHILS・バッテリーHILS対応の促進とSILSへの参入

中長期での価値創出（サステナビリティ）へ向けて

「組織の存続・成長」と「ステークホルダーの重要視点」
2つの側面から解決すべき社会課題の特定を推進中

- **当社が生かすアセット：**
アナログとデジタルの変換技術を原点に計測・制御技術を駆使したツールの提供による新しい価値の創出支援
産業の発展と健康な生活に貢献
- **事業を通じて当社が解決する課題：**
健康経営の実践、エネルギー/環境問題

➤ **関連するSDGs**



AND
Discover Precision

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。